



どんな役職に就いても
にこやかに仕事をしていたい

中村さんのHistory

Profile

44歳、長崎県出身。大学在学中に日本公認会計士試験に合格。2012年に一度キャリアを中断してオーストラリアへ。現地の大学院にてリスクマネジメントの修士課程を修了。

Company | アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

Position | 戦略企画・事業開発部 部長

Name | 中村 茜

リーダ-に

36歳まで

新卒で入社した会社から
他の金融機関などで
財務や監査に従事

(36歲)

2018年
アクサダイレクト生命保険に入社
内部監査部長を務める

40歳

2021年
ファイナンス部門に異動

42歳

2024年
戦略企画の策定などを
責任者として担当

Q 仕事をする上で大切にしている言葉は？

憶測ではなく
事実で語る

Q 仕事のマストアイテムは？



1 テーマパークで購入したお気に入りのシュシュは「アナと雪の女王」のアナのモチーフ。2 急ぎの案件があっても取りこぼしがないように、スマホと運動させたアップルウォッチは欠かせない。3 ヴィンガンレザーの名刺入れは「FUMIKODA」のもの。

Q オフの日の過ごし方は？



ゴルフやキックボクシング、
フランス語の勉強など

Q 30代でしてよかったことは？

オーストラリアへの留学
(1年間)

Q 30代でやっておけばよかったことは？

自分への時間投資
(海外旅行など)

Q ある一日のスケジュールは？

Q ある一日のスケジュールは？

9:00 ● 出社
メールのチェック

10:00 ● チームメンバーとミーティング

11:00 ● 上長との面談

12:00 ● ランチへ

13:00 ● 事務局のメンバーへの
フォローなど

14:00 ● プロジェクト全体の進捗を
確認・管理

14:30 ● チームメンバーの進捗を確認
適宜、業務のフォロー

18:30 ● 退勤

21:00 ● オンラインで
英会話のレッスンを受講

出社と在宅は月の約半分ずつ。チームメンバーとのコミュニケーションを図るため、30分単位でミーティングを設定。主務のほかに、経営層の戦略や重要事項の審議をサポートする事務局メンバーとしての業務も。帰宅後、平日は毎日1時間のオンライン英会話レッスンを受講。

“常に自分がワクワクし、成長できる道を選んできた”

転職後3年で新たな
ポジションにチャレンジ

アクサホールディングス・ジャパン株式会社の戦略本部で働く中村謙さんは、戦略企画・事業開発部の部長に就任して約1年。営業や商品開発、オペレーション部門など、会社のすべてのセクションに関わる中期戦略を立案し、全従業員への浸透を図る重要な職務を担っている。

「会社の成長ストーリーを描く戦略の立案は、約9000人の従業員が業務に遇進できるよう、納得感のある言葉でわかりやすく伝えていくことが重要です。さらに具体的なアクションに落とし込んで、業務を動かせるよう、部門間の調整はもちろん、悩み相談などサポートに入ることもあります。さらにフランスの親会社や監督官庁である金融庁と折衝する場面も。関係する全方位に気を配ってハイ・ロー・ミッド・グレイズさせることは、面白さでもあり、やりがいを感じる部分です」

管理職になったことで
自分の役割がクリアになった

全体を俯瞰したこまやかなケアができるのは、中村さん自身が30代だった頃に苦勞した経験があるから。

「当時は業務を回すことはもちろん、子育てなど家庭のことでもいっぱいばいでした。目の前の仕事をいかに効率的にこなすかをメインに頑張っていたと思います。ただ管理職として一段上がったことで、自分が会社の中でどんな役割を果たしているのかなど、それまでと違う景色が見えてきたんです。業務の意義がクリアになったことで、より仕事の面白さを感じるようになりました」

責任ある重要なポストに就きながらも、仕事のことを語る中村さんは常に「三三三」していて、なんだか楽しそう。

「もちろん想定外のハプニングに直面する場面もありますが、『こんなことも起きるんだ!』と驚きを持ちながら笑顔で面白がりながら業務をしている感じですね。多分、あまり深刻になっても物事の進捗はそれほど変わらないと思うんです。どうせ仕事をするのなら楽しいほうがいいし、笑顔でいることで、より楽しく業務に向き合えると思います。」